

# 分科会案内

## 1，子どもたちの生活を父母と伝え合う

学童保育では、父母と指導員とが子どもをまん中に、「こんな子に育ってほしい」と語り合いながら生活をつくることを大切にしてきました。父母からは家庭での様子を、指導員からは学童保育でのことのようなすを伝え合い、子どもをよりよく理解しようと努力しています。今日、子どもを育てることがだんだん難しくなっています。こうした“共同の子育て”をどう進めるかを交流しましょう。

1 - イ【世話人】竹内れい子（草加市・指）中田朝子（北本市・指）  
【レポーター】「Mちゃんとの関わりの中で」白石恵（富士見市）  
ノ「タイトル未定」小川裕子（春日部市）

1 - ロ【世話人】河野伸枝（飯能市・指）原佐登江（越谷市）  
【レポーター】「父母に寄り添いながら～S君の成長」福島康子（所沢市）  
ノ「いい関係が作れていると思っていたのですが」谷口利恵子（深谷市）

## 2．一人ひとりを大切に作る生活づくり

学童保育は、まずは子どもたちが学校の課業から解放され「ゆったりできる」場でありたいと思います。指導員は、そうした子どもたち一人ひとりをていねいにとらえながら、よりよい成長を願って生活づくりを工夫しています。毎日の生活づくりでどんなことを大切にし、子どもたちの育ちを励ましたらよいかを交流しましょう。

「一人ひとりを…」のテーマで5分散会に分かれて討議します。

2 - イ【世話人】藤岡久代（さいたま市・指）関本知恵（八潮市）  
【レポーター】「Yちゃんとの関わりを振り返って」秋山一子（上尾市）  
ノ「Yの居場所」稲村千加子（栗橋町）

2 - ロ【世話人】白石節子（さいたま市・指）荻原裕子（草加市・指）  
【レポーター】「Aの想いが見えなくて」永吉啓子（寄居町）  
ノ「喧嘩に秘められた思い」五十嵐照子（川本町）

2 - ハ【世話人】亀卦川茂（富士見市・指）新井千鶴子（児玉町指）  
【レポーター】「Yと私」西田直子（東松山市）ノ「Tについて」荒川誠（所沢市）

2 - ニ【世話人】松崎波留美（寄居町・指）高野ゆう子（上尾市指）  
【レポーター】「どの子も安心できる児童クラブをめざして」恩

田明子（富士見市）ノ「いっぱい我慢していたんだね」黒岩美咲（草加市）

2 - ホ【世話人】佐藤奈津子（さいたま市・指）中野由美（深谷市指）  
【レポーター】「J君の気持ちを知りたくて」今山睦（坂戸市）  
ノ「D伝えることの難しさ 大切さ」佐々木公未（上尾市）

## 3，障害児を含めた生活づくり

私たちは、条件づくりにもとりくみながら、できる限り障害児を受け入れる努力を続けてきました。また、友だちとの生活と指導員の適切なはたらきかけの中で障害児が育つことを確かめてきました。障害と障害児をどう理解するか、どのようにはたらきかけるか、健常児との関わりで何を留意しなくてはならないのか等を交流します。

3 - イ【助言者】細野浩一（知的障害者更生施設「結の里」施設長）  
【世話人】伊藤美知子（飯能市・指）鈴木慶子（富士見市・指）  
【レポーター】「Rのための連携を考える」高島明美（所沢市）  
ノ「Aくんと関わって」山田ユリ子（上尾市）

3 - ロ【助言者】桜井宏明（県立ひばりヶ丘養護学校教諭）  
【世話人】片山恵子（さいたま市・指）井原悦子（所沢市・指）  
【レポーター】「双子の自閉症児を受け入れて」渡辺紀子（草加市）  
ノ「A君との5年間の関わりを通して」本谷正江（川越市）

## 4，クラブだよりをもとにした実践討議

【世話人】柏木なほ子（飯能市・指）細野恵（所沢市・指）  
【レポーター】「太よう」小山智子（草加市）ノ「ひまわり通信」伊形悦子（さいたま市）ノ「さくらんぼだより」鈴木幸治（深谷市）  
学童保育での子どもたちの様子を父母に伝え、子どものことを一緒に考える上でクラブだよりは大きな役割を果たしています。「子どもたちの生き生きとした生活を伝えられると安心する」と父母は言います。クラブだよりを持ち寄り、それをもとに実践討議を行います。

## 5，障害児学童保育の生活づくりを豊かなものに

障害児学童保育は県内で25カ所にまで増えてきました。実践の積み重ねの中で、個々の子の障害の種類や程度、発達年齢による興味・関心の違いに応えた実践を模索する段階となっています。小学部から高等部まで年齢幅が大きい子たちが一緒に生活していることが特徴である障害児学童保育の生活づくりの難しさがあります。生活づくりで何を大事にしていくか、どのようにつくっていくかを深めます。

## 5 - イ 自閉症の子どもと関わって

【助言者】未定  
【世話人・記録】落合胤伴（さとっこ・指）北村めぐみ（同・指）  
斎藤洋平（同・指）  
【レポーター】小林鉄平（なかよし・指）ノ大平忠司（さくら・指）

5 - ロ 仲間（子ども）どうしの関わり  
【助言者】中谷洋子（元障害児学童保育・風の子指導員）  
【世話人・記録】（未定）  
【レポーター】高安加奈（バナナキッズ）ノ高橋とみ子（すきっぷ）

## 6，自治体に対してのはたらきかけをどう進めるか

県は、「放課後児童クラブ運営基準」を「次世代育成支援行動計画」に位置づけて市町村施策の改善を促しています。他方、「指定管理者制度」で営利企業も含めた事業主体の参入が想定される、行財政改革で公費の大幅カットがされる、「全児童対策事業」もじわり広がる等の動きも見られます。今日の自治体の動き、私たちのとりくみ出し合い、制度・施策の改善をどう進めていくかを考えましょう。

## 6 - イ 「指定管理者制度」に関わる分科会

【助言者】木村雅英（自治体問題研究者）  
【世話人】小林鉄男（県連協・副会長）柄澤悟（県連協・副会長）  
【レポーター】管理委託の形態における導入～富士見市、新座市  
業務委託の形態における導入事～坂戸市、八潮市、鴻巣市

## 6 - ロ それ以外の問題に関する分科会

【世話人】薄井俊二（県連協・会長）山本和順（県連協・事務局長）  
【レポーター】「市と父母・指導員とでプロジェクトづくり」上尾市連協ノ「全児童対策『ほうかごところ』の実態ととりくみ」所沢市学童クラブの会ノ「市町村合併に当たっての運動」深谷市連協

## 7，1人ひとりを大切に作る父母会活動、父母同士の関わりづくり

【世話人】中野実雄（さいたま市・指）照井浩二（県連協・運営委）  
【レポーター】「父母会」北本市栄学童保育室ノ「保護者とともに」ノ坪好子（所沢市）

「父母会がわずらわしい」「なかなか集まらない」という声が聞かれます。「金かせぎに振り回されて子どもの話ができない」「父母の労働形態の変化で会議設定が難しい」という事情も。一方で、「子育ての悩みや喜びが共有できてホッとする」という声も。また、「会議に出席できない家庭の事情も理解した上でとりくみを工夫している」「日常的に交流の場を設けている」などのとりくみも。父母会とは何か、父母会をみんなのもの、魅力あるものにするにはどうしたらよいかを交流します。

## 8，学ぶことを大事にする指導員会をつくろう！

【世話人】小沢明子（さいたま市・指）前田明子（富士見市・指）  
【レポーター】春日部市指導員会 東松山市指導員会（予定）  
地域指導員会は、保育内容向上のための職員会議であると共に、労働者として働き続けることを支え合う集団でもあります。特に、実践を交流し指導員としての力量を高めるためには、指導員集団の相互批判と励まし合いは不可欠です。指導員会の具体的な活動内容と活動する中での困難などを交流します。